

第37回JAG展 東京都美術館

2014/11.16~11.24 2F第3展示室にて

出品者総数：120名、出品作品総数：136点
内訳、会員・準会員：92名・101点、賛助会員・公募28名・35点
入場者数：3304名。出品者数作品数ともに増えた。平面の力作と立体・工芸が11点と目を引き、中学生グループの作品が珍しくもあった。若い層の来観者も多かったのが印象的であった。

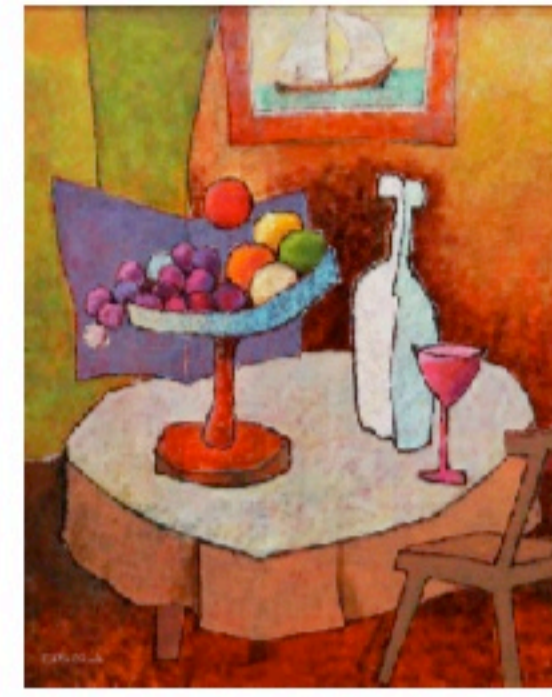
受賞作品 **会員**



JAG賞
[CONCAVE] 松木圭一
古い記憶・形体が時間と共に溶解され、壁面化・二次元化されていく様を目指し作成しました。



会員賞
「夜までカフェテラス」 中村信
ぎらぎらした夜景ですが、実際はここまでぎらぎらしていたわけではありせん。見たときの印象？



会員賞
「机上の静物」 川島峰弘
机の上は不思議なもので、現実にも現れてしまう。そういう空間を創り、想いを込めてみた。



会員賞 [牛小屋] 酒見文雄
現在牛そのものの用途に変化 心に響く出会が無く苦労 今回生活感溢れる牛小屋との出会 筆をとりました。



会員賞 [組] 片桐 豊
色々な素材で組まれた建造物に、光の照明が当り、そのコントラストが美しく感じ描きました。



会員賞 [新緑薫る溪流] 黒山久章
何度か訪れた奥入瀬の新緑と清流の感動を伝えたく、チャレンジしました。



会員賞 [ツコンボ] 山崎信榮
時を重ねると色あせる物もあれば、より輝きを増す人もいる。「ボンコツ」でも時間を巻き戻したいです。

会員奨励賞 [非天秤] 河端 遊
新し味の表現として、ペーパークラフトを意識したタタラ作りです。ナイフの角度にひと工夫を・・・。



会員奨励賞 [原生林] 山田博義
伊豆天城山、苔むす大樹と木漏れ日が苔を照らす美しい情景を描く。



会員奨励賞 [つながっているII] 真柳みちこ
太陽も土も木も人も動物も「みんなつながって生きている」がテーマです。



会員奨励賞
「インカの記憶」 岩崎隆子
インカが作った空中都市。その子孫の少女はただそこに山があるから散歩している。印象的だった。

準会員



準会員賞 [秋田駒ヶ岳] 邊見暢宏
山上湖から沸き昇る雲の迫りくる雄大さを表現してみたいと挑戦しましたが難しさに圧倒されました。

賛助会員・公募



準会員賞
「夏の日の対話」 川名理美子
夏の日差しを浴びた印象的な建物に合い、歴史を感じ、絵を描きたい気持ちになりました。

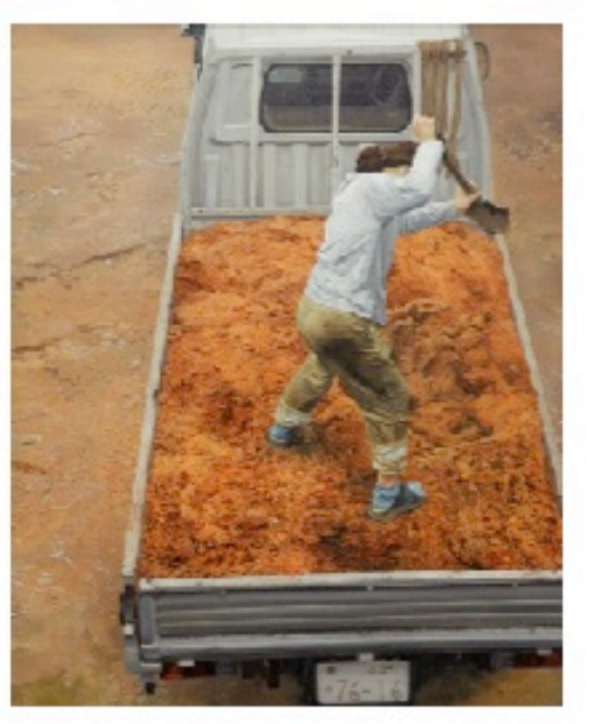


準会員賞
「旅立ち」 中村賢一
子供たちや孫たちと潮干狩をした金沢の海を見ていると、それぞれの新たな旅立ちを感じた。

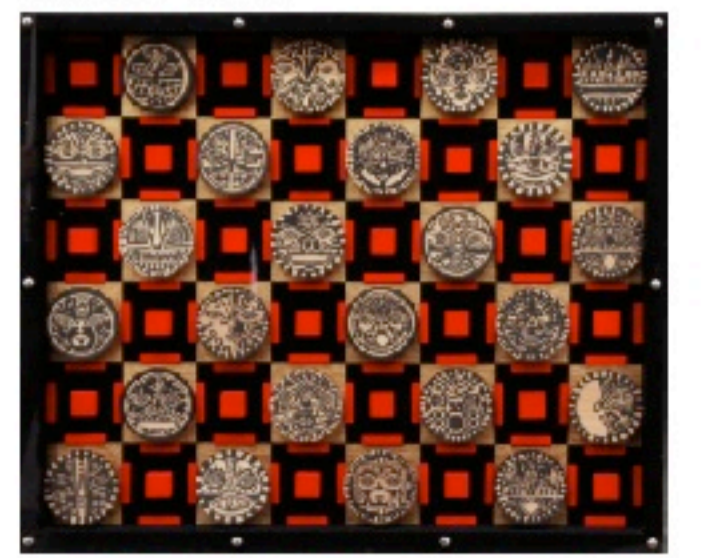
準会員賞 [荒崎] 玉木 峯
荒崎は千二百年も前から先祖が住んでいたとの事、また岩場が面白く、自然に足が向くのです。



金賞 [庭師] 大野稜桑
登場人物の顔を巧妙に隠して描き、思わぬ状況を作って、見る人の想像を刺激するミステリアスな作品を作った。

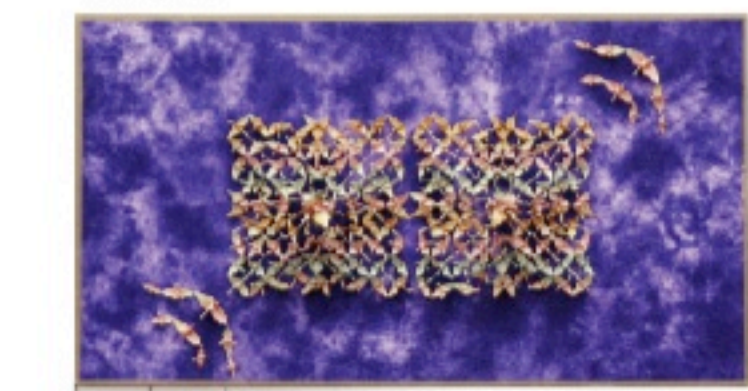


銀賞 [キャロル] 岡本 優
コンセプトは、合唱団の木製の円板ひとつひとつに描いたのは、個性豊かな歌い手達。



銀賞 [焔(ほむら)] 関 みさ子
ふる里岐阜には、淡墨桜だけでなく、あちこちの村に不思議な伝説を持つ桜の木がありました。

銅賞 [連百鶴] 中野淳子
江戸時代、伊勢の国の住職が考案した技巧を駆使。壺枚の和紙だけで、切り離すこと無く、織りなす百鶴は圧巻の微細技。



銅賞 [愁い] 太田博子
希望があるようでない。何か重苦しい気持ちがある中であり、自分を支配していることを表現した。

